

なかつか 亮



千代田・新宿・中野の3区で実施！品川区でもぜひ！

高齢者入院費用負担軽減を条例提案 日本共産党

高齢者の入院時における 費用負担軽減（要旨）

■目的

高齢者の入院に伴う経済的負担を軽減

■対象

75歳以上の区民で、入院時の医療費、日用品費、おむつ代などについて、月1万円を上限に支給

■財源

予算は年2億3000万円。財源は積立基金への新たな増額分で十分可能。

品川区議会の予算議会が約一カ月の日程で始まりました。条例は区長より25本が提出。共産党は「高齢者入院時負担軽減条例」を提案。財源根拠を示す予算修正も行います。いよいよ4年間の区議任期で、最後の定例会です。くらし・福祉こそ最優先の区政を目指し、全力で頑張ります。

高齢者の生活応援

共産党が議員提案した

条例は、高齢者の入院費用を軽減するもの。

実際にかかった費用の

うち、月1万円を上限に支給する制度です。

品川区は未実施

高齢者の医療費負担

軽減制度について、同

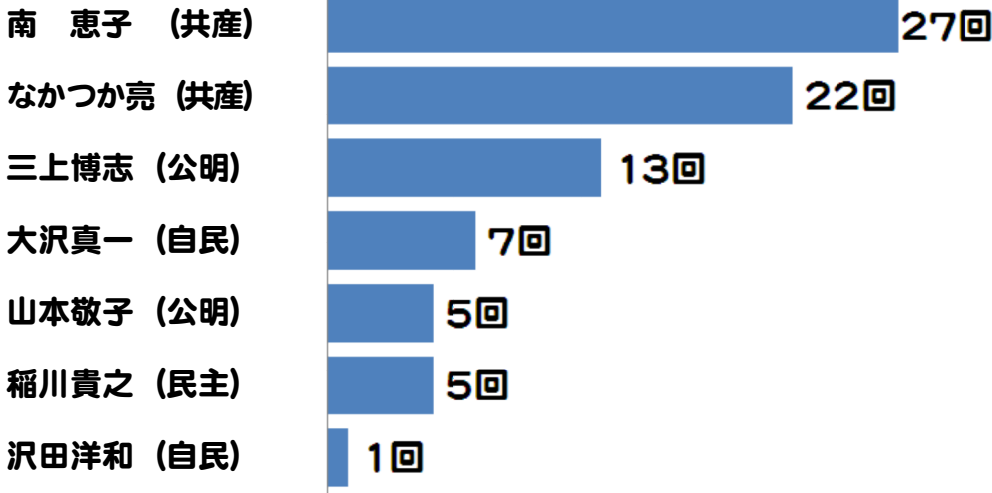
様の制度は千代田区、中野区、新宿区で実施。高齢者が病院に入院した時に使う紙おむつ代への助成制度は21区で実施されています。

しかし品川区には、どちらの制度もありません。高齢者の医療費軽減について、急いで他区並みに。そして、さらなる充実を。区議会で各党に賛同を求め、なんとしても実現させたいと思います。議会傍聴はお気軽に。問い合わせは区議控室（5742-6818）まで。

なかつか 亮

品川区議会ウォッチング

厚生委員会 発言回数編



一日の発言回数

敬称略

備考：委員長の鈴木真澄区議は、委員会運営・進行で発言は5 6回です。

「国会はテレビで見た事があるが、区議会って、どんな感じ？」と聞かれるが良くあります。これまで、なかつか亮ニュースでは「区議会で何が話し合われているのか」、「問題点は何か」などを紹介してきましたが、今回は視点を変えて発言回数に絞ってみました。

上の表は昨年10月25日の厚生委員会における各議員の発言数です。区議会ホームページの議事録より作成しました。委員会は10時に開会。昼休憩1時間をはさんで終了は3時24分。およそ4時間半の中で、議員の発言回数では、共産党がダントツです。


この日の委員会内容は「介護施設の条例改正3本」「補正予算」「特養ホーム増設など請願審査2本」「一般質問に係る所管質問」などでした。

もちろん「回数より中身で勝負」との考えもあります。発言内容については、区議会ホームページの議事録で全文を見ることができます。議会がどんな活動をしているのか。どんな事を話し合っているのか、議会の様子がわかると思います。直接、委員会を見たい人は、一度、議会傍聴を。たくさんの発見やおどろきが見つかるかも…

なかつか亮

厚生委員会

[議会棟6階 第1委員会室]

	 副委員長 中塚 亮	 委員長 鈴木真澄	
 大沢真一			 三上博志
 沢田洋和			 山元敬子
 稲川貴之			 南 恵子

委員会の席順。なかつか亮は上左です